

ID	団体名	振興局/市町村	事業対象地域	申請事業名	申請事業概要
1	特定非営利活動法人さっぽろ福祉支援ネットあいなび	石狩/札幌市	北海道	草の根助け合い活動団体支援事業	<p>新たに「居場所」を利便性の良い場所にWi-Fiを設置し開設。子どもから学生や高齢者まで社会的居場所を失った人達が気軽に集え、学生やリタイヤ後のシニアの役割づくりの場をつくり、居場所や日常生活支援など多様な活動を行っている助け合い連携団体が得意分野を生かし運営する。リスタートの為に講習や研修の映像資料を作成し団体の再生支援と孤立者の新たな活動のリスタート支援をオンライン等で実施する。また、助け合い団体の地域利用者にアンケート調査を行い、コロナ禍の暮らしの困りごとについて調べ、社会的居場所を失った人達への支援につなげるべく団体間の連携を取り、ボランティア活動を提供できるような新たな体制を構築する。</p>
2	一般社団法人 あったらしいね	十勝/帯広市	十勝管内	生活困窮総合支援シェルター事業～生活支援シェルター～	<p>様々な要因により生活困窮に陥った個人・家族に緊急避難先を提供すると共に、生活困窮から脱するための支援を総合的に提供する。具体的には、一時的に身を寄せることが出来る宿泊施設（シェルター）を運営し、生活困窮者達に安心安全な生活環境を提供する。安心安全な生活環境の中で、まずは心の余裕を回復させる。その後、各種分野の専門家による支援チームと相談することによって、それぞれの課題を整理して、解決に向けた具体的な施策を練り、生活困窮からの脱却を図る。シェルター退所後も生活が軌道に乗るまでの間は定期的なミーティングを行い、持続可能な生活のフォローを行っていく。</p>

3	特定非営利活動法人なごみ	石狩/札幌市	札幌市	さっぽろ不登校サポート ～訪問型支援からの一歩～	学校へ行けるようになるためのアクションプランや、アプローチ(訪問相談、メール・電話相談・情報提供)、学校へ行けなくても引きこもりでも「居てくれるだけでいい」環境の支援、勉強を学ぶことができる仕組みを確立する。学校へ行けない子どもたちの初期は、うつ傾向になっていて、家に閉じこもってしまっている。外への居場所へ参加させることは、現実的ではない。そこで訪問型支援を中心に子ども、親のサポートをしていくプラットホーム的機関である。段階を踏んで、訪問相談、訪問支援、移動支援、学習支援等を導入していける仕組みを持つ。
4	特定非営利活動法人みんなのポラリス	十勝/帯広市	北海道及び十勝管内	社会的に孤立する障害者の居場所づくり～オンラインカフェと障害者スポーツの普及	社会的に孤立している障害児者の社会参加促進のため以下の事業を実施する。 1.ハイブリッドカフェ 地域の障害者と全国の障害者をオンラインで結び話し合い共に考える。孤立する障害者に参加を呼びかけ社会参加の機会を増やす。 2.ポラリスとかち 定期練習に加え公式大会に遠征参加して、チームからパラリンピアン輩出を目指す。スポーツを通じて若い障害児者の社会参加の機会を増やす。 3.U15ポッチャ帯広カップ 公式ルールによるジュニア大会は国内で開催されたことがなく、北海道の身体障害児にとって大きな目標となる大会になる。このようなイベントを開催することで障害児者に対する偏見がなくなっていくことが期待される。
5	特定非営利活動法人ねっこぼっこのいえ	石狩/札幌市	札幌市	相談支援事業～地域の居場所でのオーダーメイドの相談事業～	日々の活動を通じて寄せられる様々な相談事例を要支援者とともに整理し、公的・民間の様々な支援体制に繋ぐことで問題解決を図る。様々な事情で要支援者だけではその手続きなどを行うことが困難である場合に支援員が要支援者に付き添って(同行して)役所及び関係各所に出向き、諸々の手続きを行う支援をする。また要支援者本人が諸々の手続きを行う際に、その人にあった柔軟で個別の支援を実施する。また要支援者にかかわる様々な関係機関との連携を図る。

6	特定非営利活動法人マイスペース美幌	オホーツク/美幌町	美幌町	炭づくりで広げる新しい働き方創出事業～炭づくりで実践「身近なSDGs」	<p>美幌町内に、従来の炭づくりイメージとは全く異なる、様々な材料を炭化できる製炭炉施設を設置する。障がい者、就労困難な若者等中心に研修育成し、製炭業を開始する。</p> <p>従来の飲食業、清掃業等のサービス業主体の就労に加え、感染症による休業や立ち入り禁止等の影響を受けにくい製炭業により雇用安定化を図る。</p> <p>炭づくりでは1次産業の残渣物、廃棄物を利用しゼロエミッションを実現する。自立した地域経済循環サイクルをつくることを目指す。</p> <p>炭を利用した加工商品をNPO法人等と連携し開発販売を進め、障がい者及び失業者、所得減少者へのすそ野の広い就労環境整備により、在宅ワークも含む新たな仕事と雇用創出実現を目指す。</p>
7	特定非営利活動法人こどもサポートふらの	上川/中富良野町	上富良野町、中富良野町	”孤育て”防止対策地域資源有効活用事業～孤育て防ぐ「おうちパーク」「ミニ交流会」	<p>居場所や相談先がなく、孤育て状態となっている親子のストレス緩和のために、孤立を防ぎ、繋がれる「場」を地域の人材と協力しあい、民間として継続提供を行う。具体的には、①当法人のファミサポアドバイザー等個人宅の庭を開放（毎回1-2組ずつ親子や不登校の子どもに場所を開放し、母親の話し相手や、子どもの遊び相手になって、親と子ども双方にとってのストレス解消をはかる）②公的な子育て支援センターがコロナ対策で利用制限等がかかり機能してないため、代替案として「ミニ交流会」を定期的で開催し、参加親子同士の繋がりがりや関係作りをサポートしたり、講師を招き子育て関連の勉強会や講習を行う。</p>
8	一般社団法人学校地域協働センターラポールくしろ	釧路/釧路市	釧路管内	コロナで失われた若者の就業体験と雇用創出～SDGs48プロジェクトアワード2021～	<p>コロナによって、職場体験やインターンシップの減少、アルバイト等の雇用停止により、学生の社会体験と社会人との交流がほぼ無くなっている。このような現状から、「SDGs48」と称して48人の高校生及び大学生を集め、1チーム4人、12チームを結成する。12の企業を選定し、各企業の現況とチームの思いをマッチングさせ、SDGsの目標に照らし合わせた企業目標を作成、最終成果物として30秒のコマーシャル動画を制作し、プロジェクトアワードを開催する。これにより①学生の社会体験と社会人との交流の機会を増やすこと、②この事業の継続によって事務局職員やイベントアルバイトなどの雇用の機会創出を生み出す。</p>

9	特定非営利活動法人北海道冒険芸術出版	石狩/江別市	江別市	コロナ禍を生き抜く多機能人材育成事業～コミュニティで仕事をする新しい働き方	採用抑制による就職難や採用休止により夢が断たれた学生、収入の減少や失業といった不安定な働き方をしている人たち、苦境に立たされた弱い立場にある働く人たちの現実を変えるため「多機能人材」を育成する。多機能人材とは、自分に強みを持ちつつ幅広い領域の仕事を扱える人材像と定義する。一方、細切れになっている「コミュニティの仕事」を、多機能人材が広範に取り扱うことは、社会課題の解決にとっても有効なことである。こうした働き方を「コモンズ・ワーカー（共的領域の仕事人）」と位置づけ、当法人が保有する技術の提供を通して、裁量のあるライフスタルの実現と社会課題の解決が同時に図られる枠組みを開発しようとするものである。
10	特定非営利活動法人みなば	石狩/札幌市	札幌市	盤溪森の放課後スクール～子どもの集う場から広がる地域の人の居場所	森の中で過ごす子どもたちの放課後の居場所(民営学童保育)とプログラムの実施し、ストレスの多い中で子どもたちが心理的レジリエンスを高めていける場を作る。森の中で遊ぶことの重要性(自然の中で過ごすことでの心地よさ)を体感し、子どもたちにとっての社会との接点、知的好奇心を刺激する場として活動を担い、地域や社会の方々や放課後のステージにたくさんの方たちと子ども達が出会い「社会全体で子どもを育てる」。また、子どもたちの不安の解消には保護者の安心が不可欠であり、特に母親が安心して相談できる場の保護者の不安を解消するプログラムを定期開催する。他、フリースクール、居場所支援等のスタッフ研修・交流会を実施。
11	特定非営利活動法人ケアラズ北海道	石狩/札幌市	北海道	毎日楽しく、ゲンキ作戦～コロナ禍も音楽と笑いでつなぐリモート交流	コロナ禍で活動の場を絶たれた演者（シンガー・各種演奏家・お笑い・パフォーマー・各種講師・アマチュアや同好会ほか）が各スタジオや店舗から各施設（自室から携帯で繋ぐ事も可。数量限定でタブレットの貸し出しを行う）とのライブ交流を開催。同時進行でその模様を字幕で流す。リアルタイムに表示される字幕は聴覚障害者、耳の遠い方や健常者にも刺激となる。相互交流の文字表示は今後広がる新分野の先駆けであり、受け手だけだった皆さんがライブ交流で目のあたりにすることにより次回への意欲に繋がる。継続することで参加者の変化や経過も記録として残し今後に生かすことが出来る。「コロナ孤立」から増やさないことが必須である。